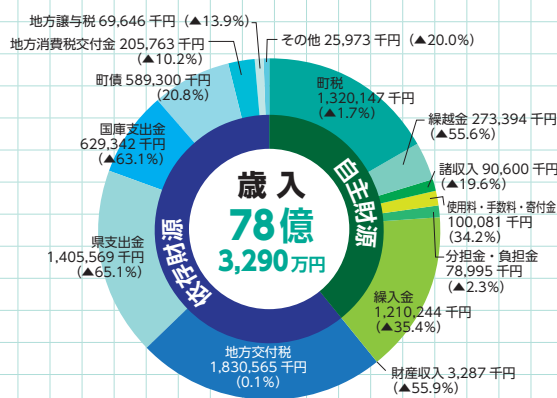
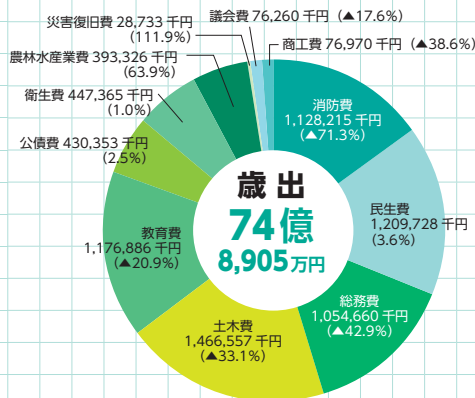


歳出の特徴

除染事業の規模縮小などにより、歳出総額は減少しました。

農林水産業費が産地パワーアップ事業補助金やふくしま森林再生事業により増加しましたが、除染事業の規模縮小による民生費(災害救助費)の減少および、緊急雇用対策事業の完了による労働費の減少、基金積立金の長期避難者生活拠点形成交付金基金や東日本大震災復興交付金基金残余金国庫返納による総務費の減少、災害公営住宅整備事業の完了による土木費の減少により、歳出総額は減少しました。



歳入の特徴

自主財源は、30億7,674万円となり、歳入比率が10.9%増加しました。

除染事業が概ね完了したことによる規模縮小や、災害公営住宅整備の完了により、国庫支出金(復興交付金(災害公営住宅整備事業))、都道府県支出金(除染対策事業交付金)が大幅に減少しました。

繰入金は、財政調整基金や文教施設建設基金、がんばるふるさと・桑折応援基金へ繰り入れが増加し、東日本大震災復興交付金基金や長期避難者生活拠点形成交付金基金が事業への繰り入れにより減少しました。地方債は、幼稚園施設整備事業債により増加しました。

性別別歳出内訳

27.4%

**義務的経費 20億6,063万円**  
 人件費 10億 557万円  
 扶助費 6億 2,471万円  
 公債費\* 4億 3,035万円  
 ※借入金(町債)の返済に使うお金

32.0%

**投資的経費 23億9,946万円**  
 普通建設事業費 18億 2,324万円  
 災害復旧事業費 5億 7,622万円

40.6%

**その他経費 30億2,897万円**  
 物件費\*1 12億 9,526万円  
 繰出費\*2 6億 7,431万円  
 補助費等 4億 7,586万円  
 その他 5億 8,354万円  
 ※1 委託料や賃金、旅費などに関する経費  
 ※2 一般会計から他会計や各種基金へ繰り出すための経費

町民1人あたりの歳出決算額 (単位:円)

費目	決算額	対前年度増減額
土木費	120,774	△724
民生費	99,623	4,255
教育費	96,919	△82,065
消防費	92,911	△228,306
総務費	86,853	△63,964
衛生費	36,841	639
公債費	35,440	1,145
農林水産業費	32,391	12,779
商工費	6,339	△3,910
議会費	6,280	△1,277
災害復旧費	2,366	1,257
諸支出金	0	0
合計	616,738	
町民1人あたりの町税負担額	108,717	△948

※ H29.4.1現在の住民基本台帳人口12,143人をもとに算出

平成28年度 桑折町の

# 決算

決算は皆さんが納付された税金、国や県からの補助金・交付金などがいくら入ってきて、どのように使ったかを明らかにするとともに、町の一年間のあゆみ・記録となるものです。平成28年度の決算がまとまりましたので、ご報告します。



総合戦略の着実な推進  
 有害鳥獣対策事業の推進  
 新しい総合計画の策定など  
 の重点施策を掲げて事業  
 事業を展開しました。

その結果、歳入総額78億3,290万円、歳出総額74億8,905万円、歳入歳出差引額は、3億4,385万円となりました。このうち、今年度へ繰り越した事業の財源を差し引いた3億8,100万円が剰余金となり、決算は黒字でした。剰余金のうち、1億6,000万円を財政調整基金に積み立て、残り1億4,810万円を今年度に繰り越しました。予算の執行にあたっては、緊急・重点事業の選択化と諸経費の節減・合理化を図るなど、国や県などからの特定財源を確保しながら、財源の重点的かつ効果的な配分を行い、健全な財政運営に努めました。

決算は黒字

平成28年度の決算状況は、桑折町総合計画「復興と創造プラン」最終年次として、持続可能な財政構造の確立に努めるとともに、国や県などからの特定財源を活用し、引き続き放射性物質除染業務や災害公営住宅整備などの東日本大震災に対応する事業の実施、幼稚園の統合整備、「桑折町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の着実な推進は、緊急・重点事業の選択化と諸経費の節減・合理化を図るなど、国や県などからの特定財源を確保しながら、財源の重点的かつ効果的な配分を行い、健全な財政運営に努めました。

用語の説明

【繰入金】 各種基金や他会計から一般会計へ繰り入れるお金	【一般会計】 福祉や教育・土木といった一般的な事業に使われ、町の事業の基本となる会計
【地方交付税】 自治体の財政力に応じ、国から交付されるお金	【自主財源】 町税や使用料など、町が自主的に収入できるお金
【国庫・県支出金】 特定の目的のために国や県から交付されるお金	【依存財源】 地方交付税など、国や県の意思によって額が決められ、割り当てられるお金
【町債】 国や銀行などからの借入金	【町税】 町民の皆さんが町に収める税金
【公債費】 町債の返済に使うお金	

東北地方太平洋沖地震義援金

多くの方々からいただきました義援金は28年度中に新たに1,100円を受け入れ、受け入れ総額が2,769万5,653円となり、内1,100円を温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ!」屋内遊び場イベント開催へ充当させていただきました。ご支援ありがとうございました。



特別会計決算

会計区分	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	15億9,616万	15億5,781万	3,835万
後期高齢者医療	1億4,967万	1億4,956万	11万
介護保険	14億5,482万	14億207万	5,275万
公共下水道事業	3億6,074万	3億5,080万	994万

水道事業会計

会計区分	歳入	歳出	差引額
収益的収支	3億9,092万	3億2,446万	6,646万
資本的収支	1,278万	8,582万	△7,304万

※資本的収支の不足額7,304万円は、留保資金および地方消費税資本的収支調整額などで補てんしました。

各種基金の残高 (平成28年度末)

会計区分	基金名	残高
一般会計	財政調整基金	9億8,366万
	減債基金	1億3,368万
	その他特定目的基金	18億6,355万
	土地開発基金	1億6,905万
	その他定額運用基金	7,571万
合計		32億2,565万
国民健康保険	国民健康保険給付費支払準備基金	5,208万
介護保険	介護給付費準備基金	4,185万

# 公表

## 平成28年度 町財政の 『健全化判断比率』 『資金不足比率』

町財政の健全性を、一般会計は健全化判断比率で、公営企業会計は資金不足比率で判断します。

実質公債費比率、将来負担比率ともに基準値内であり、**財政の健全性が保たれている** 状況です。

区 分		26年度	27年度	28年度
健全化判断比率	実質赤字比率 (15.0)	-	-	-
	連結実質赤字比率 (20.0)	-	-	-
	実質公債費比率 (25.0)	10.3	10.4	11.0
	将来負担比率 (350.0)	11.8	15.7	10.1
資金不足比率 (20.0)	水道事業会計	-	-	-
	公共下水道事業特別会計	-	-	-

- 健全化判断比率の実質赤字比率、連結実質赤字比率、および資金不足比率は、赤字や資金不足になっていないために「-」で記載しています。
- ( ) 内は早期健全化基準。これを超えた場合、財政健全化団体として「財政健全化計画」の策定と、自主的・計画的な健全化を国から求められることになります。

### 実質公債費比率

一般会計が実質的に負担する地方債償還金※2の標準財政規模※4に対する割合の3か年平均値。一般会計が直接借り入れた地方債だけでなく、公営事業会計や一部事務組合の地方債償還に係る負担も含まれます。町が年間どの程度を借金の返済に充てるかを指標化したもので、一般会計の資金繰りの悪化の度合を示します。

家計に例えると…

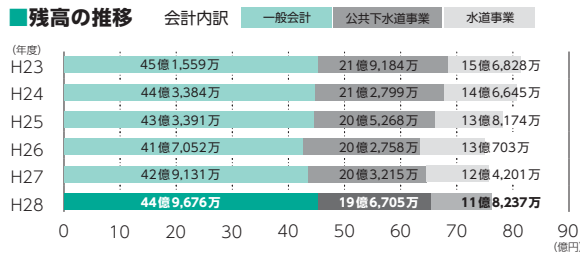
年収に占める年間の借返済額の割合

### 将来負担比率

一般会計が将来負担すべき負債の標準財政規模※4に対する割合。公営事業会計や一部事務組合の他、地方公社や第三セクターに対する実質的負担も含めた一般会計の将来負担見込額から、基金※3など地方債償還等に充てることのできる財源を控除したものが標準的な年間収入の何%に相当するかを指標化したもの。地方債償還等の負担が将来の町財政を圧迫する可能性の度合を示します。

家計に例えると…

借金残高が年収の何%あるのかを示した割合



### 用語の説明

- ※1 債務負担行為  
契約等で将来にわたって支払いを予定すること（実質公債費比率では公債費に準ずるものとして計上）
- ※2 地方債償還  
借金（一般会計年度を超えて行う借入れ）の返済
- ※3 基金（貯金）  
特定の目的のために、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設ける財産
- ※4 標準財政規模  
その地方公共団体が標準的な行政活動を行う上で通常見込まれる一般財源（使途が特定されておらず、地方自治体が自らの裁量で使用できる財源）の規模 [桑折町は概ね35億円程度]

## 町債の状況

町債残高は、実質公債費比率、将来負担比率に大きくかかわってくるものです。右のグラフは、平成23年度～28年度までの、一般会計・公共下水道事業特別会計・水道事業会計の町債残高の推移です。

※帯内の各数値が、各会計年度ごとの残高です。

### ■平成28年度末 町債等の残高

会計区分	27年度末残高 (A)	28年度借入額 (B)	28年度償還元金 (C)	28年度末残高 (A) + (B) - (C)	
町債	一般会計	42億9,131万円	5億8,930万円	3億8,385万円	44億9,676万円
	公共下水道事業特別会計	20億3,215万円	8,310万円	1億4,820万円	19億6,705万円
企業債	水道事業会計	12億4,201万円	0円	5,964万円	11億8,237万円

# 平成28年度 主な使いみち

区 分	(単位：万円)
<b>I. 災害に強い安全で安心な町</b>	
消防団運営費、消防施設整備・管理費	4,709
防災対策費（防災訓練、防災行政無線保守点検等）	795
伊達地方消防組合負担金	17,590
防犯対策費（防犯灯のLED化事業等）	1,449
交通安全対策費（カーブミラー補修工事等）	340
<b>II. みんなで支える健康で人に優しい町</b>	
臨時福祉給付金等給付事業費	1,945
原発事故対策費（内部被ばく検査、食品放射能測定等）	1,854
健康増進事業費（各種がん検診等）	2,164
社会福祉協議会・シルバー人材センター補助金	1,620
障がい者福祉事業費（福祉タクシーや医療費助成、自立支援サービスや生活用具の給付等）	23,440
老人福祉事業費（敬老会、敬老祝金、老人ホーム整備事業負担金等）	2,185
養護老人ホーム入所措置費	1,541
犬かや園管理運営費	2,722
<b>III. 自然豊かで住みやすい美しい町</b>	
原発事故対策費（仮置場解体工事、除染廃棄物搬出等）	84,426
伊達地方衛生処理組合負担金、ごみ収集搬運業務委託費	9,262
住宅用太陽光発電システム設置支援事業費	89
森林保全事業（ふくしま森林再生事業）、半田山自然公園整備・管理費	5,229
公園施設管理費	672
合併処理浄化槽設置事業費	502
上水道拡張事業負担金、簡易水道組合への補助等	622
<b>IV. 復旧と復興快適に生活できる町</b>	
災害公営住宅整備事業	100,417
福島地方土地開発公社損失補てん金（堰向地区工業団地売却に伴うもの）	3,307
道路新設改良費（寺前上堰添等）	3,487
水路新設改良費（上部地区用排水路等）	2,230
道路維持管理費	6,173
橋梁維持管理費	3,769
広域交通対策費（生活路線バス不採算路線補助等）	11
空家対策・木造住宅耐震診断	464

「復興こおり創造プラン」に基づき、健全な財政を保ちながら、桑折町らしい町づくりに取り組みました。7つの基本構想別に、主な事業を紹介します。

区 分	(単位：万円)
<b>V. 未来を拓く子育て支援と学びの町</b>	
統合幼稚園整備事業	43,117
母子保健事業費（妊婦健診等）	924
予防接種事業費（四種混合、インフルエンザ等）	2,728
子ども医療助成費（高校生までの医療費助成）	5,520
児童館・放課後児童健全育成費	2,823
児童手当給付費	16,695
ひとり親家庭医療費助成事業費	204
保育所管理運営費（地域子育て支援センター事業含む）	8,716
幼稚園管理運営費（幼稚園預かり保育含む）	6,312
小・中学校管理運営費	10,677
英語指導助手受入事業費	525
就学事務費（特別支援教育支援員の配置等）	3,242
学校給食センター運営費	11,707
生涯学習振興費（各種生涯学習講座・教室の開催等）	3,205
国際交流事業	354
公民館管理費	2,494
体育施設費（施設管理費）	7,508
文化財保護費（史跡桑折西山城跡整備事業等）	36,648
文化記念館管理運営費	1,944
<b>VI. 大災害に負けない活力ある町</b>	
農業振興費（営農再開支援事業、水田農業構造改革対策奨励事業、農産物販売促進事業等）	17,629
農業基盤整備事業費（農業用排水路整備、土地改良区補助等）	736
有害鳥獣被害防止事業費	1,913
商工振興対策費（商工会補助金、中小企業貸付金等）	3,927
観光振興対策費（観光案内看板設置、ホテル観音者対策、地域振興事業補助金等）	425
ふるさとづくり事業費（町民研修センター管理運営等）	1,452
<b>VII. 絆を支える住民が主役の町</b>	
文書広報費（広報紙の発行、行政連絡員報酬等）	4,772
住民自治協議会支援事業費、町内会集会所関係補助金等	208
統計調査費（経済センサス等）	71
選挙費（参議院議員選挙、選挙啓発等）	1,373
議会管理運営費	5,926
地方債借入金元金償還金・利子支払費	43,035

### 平成29年度

## 一般会計上半期予算状況

今年度の当初予算総額は51億9,723万円でしたが、その後の予算補正により9月末の予算現額は、**54億61万円**となりました。

### ■予算補正の主なもの

▶ 桑折テニスコート人工芝張替工事（新規）	3,300万円
▶ 新庁舎建設地質調査及び周辺道路測量設計（新規）	2,900万円
▶ 半田沼ストックマネジメント事業（増額）	1,513万円
▶ 地域振興事業補助金（桑折町振興公社）（増額）	1,240万円
▶ 農業活動拠点施設浄化槽設置工事（新規）	1,200万円